

公衆無線LAN (FreeWi-Fi) 利用上の注意点

最近では、飲食店や駅、集合施設等の公衆エリアで利用可能な無線LANサービス(公衆無線LAN)が増え、利便性が向上しています。一方で、セキュリティ対策のされていない公衆無線LANを利用したり、ファイル共有機能を解除しないなど適切な設定をせず利用した場合、盗聴や犯罪被害に巻き込まれる可能性がありますので注意が必要です。



どうして盗聴や犯罪被害に遭うの？

公衆無線LANの中には、利用するときにパスワードの入力をしなくても利用できるものがありますが、そのような公衆無線LANは「暗号化」などの安全対策がされていないことがあり、その公衆無線LANを利用した場合、メッセージのやり取りが他の人に見られてしまう可能性があります。



どのような点に注意すればいいの？

公衆無線LANを利用する場合には、以下の点に気を付けてください。

- 公衆無線LANでは、ID・パスワード等のログイン情報やクレジットカード番号等の個人情報を入力しない。
- 公衆無線LANの安全対策を確認する。
(パスワードの入力を面倒くさがらず、安全対策がとられ暗号化されている公衆無線LANを利用する。)
- 公衆無線LANが暗号化されているか否かにかかわらず、重要な情報を入力する際には、SSL(暗号化技術)を利用しているサイトであるか確認する。

※ [https]で始まるサイトや[鍵マーク]のあるサイトはSSLを利用しています。



公衆無線LANの安全対策の確認方法



安全対策がとられている
(鍵マーク付き)

安全対策がとられていない
(鍵マークなし)

サイトのSSL利用確認方法



SSL通信が利用されている